

茅ヶ崎セントラルクリニック 神代 慶子(薬剤師/コメディカル部)

- 功 績** インシデント報告数"0"件に向けた仕組みを構築し、かつ他部署がヒューマンエラーによるインシデント発生防止に向けて取り組みへの模範となる功績
- 推 薦 者** 並木 乃輔(事務長/事務)
- 推 薦 理 由** 自部署のみならず他部署が関わるインシデントを発生させない仕組みづくりに取り組んだ事は、他部署がヒューマンエラーによるインシデント予防対策を図る上で、職員の模範になっていると思い理事長賞に推薦します。

内 容

神代氏は入職して13年目の薬剤師です。日々の業務にも真摯に向き合い、率先して業務の効率化に取り組んでいます。

前年度、薬剤科では、薬剤師1名、助手1名の体制でセットミス、調剤間違い、種類間違いのイクシデント報告が多く、ヒヤリハットの段階で済んではあるものの早急に業務の見直しを行う必要がありました。自分たちの業務から見つめ直す事から始め、患者さんへの服薬指導前に再度チェックする業務をフローに取りこむ等、結果、自部署要因のインシデント報告件数0件を継続できる仕組み作りにつながりました。また医師、看護師の協力性が高いこともあり、他部署要因の薬剤インシデントも発生させないよう、自分たちの目だけではなく、医師、看護師もチェック出来るよう変更指示書のフォーマットを作成し、ネットワーク上でダブルチェック出来る仕組み作りも行いました。

結果、薬剤のインシデントアクシデント報告件数は前年度12月以降"0件"を継続しています。

さらにクリニック全体の業務の効率化を目指すべく、電子化を推し進める中心職員としてデータベース作成にも率先して取り組み、学会発表等にて必要なデータも逐一使用できる環境の整備も整いつつあります。自部署の業務の改善を図り、さらに他部署と情報を共有しチームとして発生させない仕組み構築まで1年を要しましたが、ブレずに取り組んだ事で質の高い医療の提供につながったと思います。